

## 《企画展》「劉建華(リュウ・ジェンホア) 中空を注ぐ」



上海を拠点に活動している劉建華の個展を日本で初めて開催します。

劉建華は、官庁街通りに展示している二つの大きな枕の作品《痕跡》の作家です。中国における経済や社会の変化や、それに伴う問題をテーマに、土や石、ガラス、陶磁器などを使って立体作品やインスタレーションを制作しています。

本展ではメインとなる展示室に、ペットボトルや靴などの日用品を磁器で制作した《遺棄》を展示します。私たちが使う日用品の大半は一時の役目を果たすと放置され、壊れてごみになります。この作品は、私たちが土に還らない素材に囲まれて生活していることや、処分できないものを蓄積し続けている現状を想像させます。その他にも劉の初期から近年までの作品を紹介します。

**開催期間** 6月24日(土)～11月19日(日)

**観覧料** 一般 1,800円 (常設展を含む)

※高校生以下無料

### アーティストトーク 劉建華



**とき** 6月24日(土)

午後1時～2時

**ところ** 地域交流センター  
「とわふる」

**定員** 50人

※事前予約制 (先着順)

**料金** 無料

### 学芸員による 常設展ギャラリートーク

**とき** 6月17日(土)

午前11時～11時40分

**定員** 10人※事前予約制 (先着順)

※要常設展チケット

### 6月10日(土)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

### ～市民無料デーに合わせて開催～

### 対話型鑑賞プログラム《げんびさんぽ》

げんびサポーターと一緒に常設展示作品を鑑賞します。

今回の作品は塩田千春《水の記憶》です。

**とき** 午前11時～正午 **定員** 20人 ※事前予約制 (先着順)

## サテライト会場 space 筒 | tsu-tsu 展

令和4年度より、アーティスト目[mé]による空き家を展示室へと改装した作品「space」を、美術館のサテライト会場として運営し、若手アーティストによる実験的な表現を紹介しています。

令和5年度前半の展覧会は、ドキュメンタリーアクターである筒 | tsu-tsu の個展を開催します。

筒 | tsu-tsu は、幼少時より修する日本舞踊から得た「筒(つつ)」という身体感覚を手掛かりに、演技と共同体にまつわるプロジェクトを展開しています。

会期中2カ月間、筒 | tsu-tsu は本市に滞在し、実在の人物取材し演じるドキュメンタリーアクティングの過程を公開します。作家の日々の行動・居場所は事前に公表され、どなたでもお越しいただけます。会期最終週に、ドキュメンタリーアクティングの最終段階として、追想パフォーマンスを行います。



目[mé]《space》 撮影：小山田邦哉



撮影：Ryu Ika

**開催期間** 7月1日(土)～9月3日(日)

**会場** space (十和田市現代美術館サテライト会場  
西三番町 18-20)

**観覧料** 無料

### 筒 | tsu-tsu によるドキュメンタリーアクティング

2カ月間の展覧会に先駆け、作家がパフォーマンスを行います。十和田市に訪れ出会った人を演じることで、町の歴史を身体の中に取り込みます。

**とき** 7月1日(土)、2日(日) **集合場所** space

**開始時間** 午前10時、午後0時30分、午後2時30分  
(所要時間 1時間30分)

**料金** 無料 ※直接集合場所へお越しください。